

教室×家庭で育むお子さまの、最初の9ヶ月成長ストーリー [エピソード]

# Episode

learning, living and you

## 小学生の成長ステップ 学習意欲・不安 感情コントロール

### STORY #01

ひらがなが書けない、  
たし算もひき算もできなかった娘が大成長

### STORY #02

自分に合った学習法で、  
短期間で成績が大幅にアップ！

### STORY #03

成功体験を積んで  
言葉で伝えられるように

LITALICO ジュニア（発達支援）利用者アンケート

## どんな人が利用してる？

発達×子育てお悩みQ&A

## 子育てのこんな時どうしよう？

# 第3号

2024.07

# テーマ 学習意欲

小学3年生

(取材当時)

「今日のテスト、90点とつたよ！」  
ひらがなが書けない、たし算もひき算もできなかった娘が大成長

コミュニケーションの苦手さから、困ったときにヘルプ要求ができないことや、学習面の遅れが気になり、教室に通い始めたNちゃん。今では学習面での意欲が高まり、学校の授業でも積極的に手を挙げる場面が増えてきたといいます。Nちゃんの成長ぶりについて、お母さまにお話を伺いました。

授業についていけなくなる  
のでは…焦りが募る日々

娘は幼稚園の頃から友だちの輪に入っていくことが苦手。幼稚園の先生からも、「入れて」「あそぼ！」と自分から声をかけることができず、一人あそびが多いと聞いていました。家族との会話が少ないことも気がかりでした。「小学校に入れば、環境も変わるし、成長が促されるかもしれない」と、これといった対策をしないまま、小学校に入学したんです。

## Index

子どもたちの  
成長ストーリー

9ヶ月で  
どう変わる？

STORY #01 P2-5

学習意欲

ひらがなが書けない、  
たし算もひき算もできなかった  
娘が大成長

STORY #02 P6-9

学習×不安

自分に合った学習法で、短期間  
で成績が大幅にアップ！

STORY #03 P10-11

感情コントロール

成功体験を積んで言葉で  
伝えられるように

P12-13

マンガで読む  
通塾事例

P14-15

どんな人が利用してる？  
LITALICO ジュニア  
利用者アンケート

P16-17

子育ての  
こんな時どうしよう？  
発達×子育てお悩みQ&A

「頑張ればできるようになるんだ」自身で成長を実感

入学早々に大手学習塾の個別指導に通い始めたのですが、当時、娘はひらがなが書けない、たし算もひき算もできない、という状態。一般的な指導ではなかなか理解が進まず、一桁のたし算やひらがなの書字ができるようになったのは2年生に上がってからでした。

そこで、娘の発達に合わせた支援・指導をしてくれる場所がないかと探して、たどり着いた

のがこちらです。

教室では、学校の授業を先取りした内容を教えていただいています。ここでしっかり予習をしてから学校の授業にのぞむので、理解がしやすいようです。

さらに、先生は褒めるのがとても上手なんですよね。「そこに注目して褒めるんだ」と、勉強になることがたくさんあります。

娘も先生に認めてもらって、褒めてもらって、頑張ればできるようになるんだ、と分かったことが大きいと思います。



入学後も人見知りの激しさは変わらず、あいさつもままなりませんでした。教科学習でも最初からつまずきがあり、「このままでは授業についていけないってしまう」「できないことが多すぎて、からかいやいじめの対象になってしまうかもしれない」という焦りもありました。

文章問題しっかり読めたね！

✓ 全部の項目埋められたね！

🌸 上手に説明できたね  
分かりやすい！



# テスト結果をうれしそうに教えてくれるまでに成長



学習そのものへの関心が  
見違えるほど積極的！

以前は、学習そのものへの関心が薄く、分からないからただ黙って座っているという状態で、授業中に頭を抱えて固まってしまうことも多かった娘。

それが、今では「今日のテスト、90点とったよ」とうれしそうに教えてくれたり、「夏休みの宿題は7月中に終わらせる！」と自分で目標を立てたりと、見違えるほど積極的になりました。学習の成果がしっかり成績にもあらわれているから、本人のやる気もますます高まっているようです。

娘のことでストレスをため  
こんでいた毎日が嘘のよう

私自身もとてもラクになりました。小学校に入ってから、できないことだらけの娘の様子に

ストレスをためこむ毎日でした。どうしていいか分からなくて、不安でいっぱいでした……。

だからこちらに通い始めて、先生にいろいろと相談できたことは私にとっても非常に助けになりました。最初のほうは、相談シートにいろいろな質問や悩みを書いていましたが、最近はめっきり相談ごとが減りました。もちろん、まだできないことや課題もたくさんありますが、私自身はもうストレスに感じていないですね。

先生がされている「ハードルを下げて褒めること」を家庭でも実践してみると、娘がこんなに喜んで頑張れるんだということに気づけたし、娘がやりたいことも分かってくあられるようになってきて、不安がなくなってきたのかなと思います。



# Message

入塾当初のNちゃんは学習全般に苦手意識があり、算数は指を使って数えることからスタートしましたが、今では学校の授業の先取りするところまで頑張っています。コミュニケーション面でも、自分の気持ちの伝え方が分かって、相手との会話でさらに話が広がっていく成功体験をたくさん積めたことで、自分からお話をしてくれることも増えてきましたね。ご家族が、Nちゃんのできていること、できなくても頑張ったところに注目して、たくさん褒めることを心がけてくださっていることが成長の大きな原動力ですね。引き続き学習面やコミュニケーションのスキルを培っていただけたらいいな、と思います。

LITALICOジュニア  
大井町教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



以前だったら考えられない  
うれしい変化も

もう以前の娘とは180度違いますね。以前と比べてとても明るくなりました。こちらでは、先生に心を許していて、ときには大騒ぎすることもあります。

でも、そんな姿も以前だったから考えられませんでした。じつと黙って、他者と関わらないようにしていた子が、あんなに楽しそうに騒いでいる。それも親にとってみると、とてもうれしい変化です。今後もう少し褒めて、ポジティブな関わりを続けていきたいと思います。



# テーマ 学習×不安

小学2年生

(取材当時)

## 漢字を覚えるのが苦手。

自分に合った学習法で、短期間で成績が大幅にアップ！

小学校に入学後、漢字や算数のたし算がなかなか身につかず、苦勞していたというRくん。教室に通い始めて7ヶ月が経った今、苦手だった漢字や算数の成績は大幅に向上。さらに、これまでであれば落ち込んでしまうような場面に遭遇しても、前向きに考えられるようになりました。

漢字やたし算が苦手で、  
不安になりやすかった

息子は早生まれなので、勉強についていけるかどうかを就学前から心配していたんです。実際に、なかなかひらがなを書けるようにならず、たし算を習得するのにも苦勞しました。

ほかにもいろいろなことに不安や恐怖感を強く抱くタイプで、自分の行動を後から振り返って「大丈夫だったかな？」と気にすることも多くて。学校の先生に注意されることを極度に恐れている様子もあり、少し注意されただけですぐ落ち込んでいました。そんな息子を見ていて、いつか学校に行けなくなってしまうのではないかと心配していました。



**弱みだと思っていたことを  
強みと捉えてもらえた**

通い始めた頃、先生に「Rくんはリスクヘッジが得意ですね」と言われたのが印象に残っています。怖がりたり不安に思ったりするということは、それだけ先を見越した行動が取れるということだと言われて、そういう捉え方もあったのかと驚きました。弱みだと思っていた部分も、考え方によっては強みに変えられるんですね。

それから「ある場面を写真のように捉えて記憶するのが得意」という息子の強みも見つけていただきました。今まで意識したことはなかったのですが、言われてみれば普段の何気ない出来事について思い出して話してくれることが結構あったので、納得感がありました。息子のことをよく見てくださることでなら、苦手なことを克服していけそうだと感じ、通うことを決めました。



いつか学校に行けなくなってしまうのでは…と心配する日々

# 20点だった漢字テスト。今では毎回満点に近い点に！

自分に合った学習法が  
見つかったからの大成長

教室に通い始めていつの間にか漢字を書けるようになりました。学校の漢字テストの点数もグンと伸びたんです。通い始める前は20点くらいだったのですが、今は毎回満点に近い点数を取っています。

授業では、漢字の覚え方にはいろいろなアプローチがあることを教えていただきました。

いろいろな方法を試していた  
だった結果、息子には自分の  
知っている形を組み合わせて覚  
える方法が1番合っていること

が分かりました。たとえば、「事」という字であれば、「亊」を書いてから「口」を書いて…といったように、漢字の形を知っている部首や形ごとに分解して考えるんです。

これまで漢字はただひたすら紙に書いて覚えるしかないと考えていたのですが、勉強法を変えるだけでここまですんなり覚えられるのかと驚きましたね。

新しい漢字を覚えてたの頃は、書き順が間違っていることもあるのですが、最終的には正しい書き順で書けるようになるので、息子にはとてもいい学習方法だと思っています。

これまで息子は、友だちに嫌なことを言われると、ただただ落ち込んでいました。でも、こちらに通うようになってから、そういう場面でも上手に対処できるようになったようです。

学校で起きたトラブルについて先生に相談すると、その出来事を授業のテーマとして取り上げてくださり「こんな時は、どう考えたらいいのかな？」と息子に問いかけながら、その場に合った対処法を教えてくれるんです。そのおかげで、日常生活でも授業での学びが生かされていると感じる場面が増えてきました。

漢字を分解して考える





# Message

通い始めた当初は、少し不安そうな様子だったRくん。好きなことや興味のあることを意識的にコミュニケーションに取り入れることで、徐々に打ち解けていきました。

学習面についても、ご家庭での様子を参考に、Rくんに合った指導方法を探っていきました。漢字を分解して覚える方法も、Rくんの自宅学習の様子をヒントに編み出した勉強法です。

これからもRくんの素直さや、言われたことを一生懸命やってみようとする向上心を活かしながら、新しいことにもチャレンジしていけるよう、ご家族の皆さまと一緒にサポートしていきたいです。

LITALICOジュニア  
石神井公園西口教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



先生は、ちょっとしたことでも親身になって相談に乗ってくださいいます。困ったことが起きた時に先生にお話すると、一緒に対処法を考えてくださるの  
で安心感があるんですよ。  
それに、一方的に「こうしてください」とアドバイスするのではなく、いくつかの対策を提案しながら「Rくんにはどのような方法がしっくりくるでしょうか？」と投げかけてくださるんです。息子のことを1番よく知っている親の判断を尊重してくださる姿勢が、とてもありがたいです。  
私なりに息子に合った対処法

を選んで実際に試してみる。うまくいかなければ別のパターンを試す。そんなふうに先生と試行錯誤できるので、心強いです。



テーマ  
**感情  
コントロール**

小学6年生

(取材当時)

# 気持ちを伝えられず泣いていた娘

## 成功体験を積んで言葉で伝えられるように

自分の気持ちを整理できないときは、2時間くらい泣き続けることもあったRちゃん。今では、嫌なことをきちんと言葉にして相手に伝えられるように。教室を利用してからの変化についてお母さまにお話を伺いました。

「お母さんに私の気持ちは分からないよ」

娘は怒りや不安な気持ちをうまく言葉で表現できないことで、乱暴な言い方になってしまふことがありました。宿題で分からない問題があったり、自転車の練習が思ったようにできなかったりすると、カッとなってしまうんです。

友だちとのコミュニケーションがうまく取れないことで、家に帰ってきてから泣いてしまうこともありました。

そんな様子を見て、私自身も困ってしまうことが多くありました。悩んでいる娘に対して、私がかつてあげられなかったんです。「お母さんに私の気持ち

ちは分からないよ」と言われてしまふこともありました。

授業の中では、モヤモヤや怒りを感じたときに、気持ちをコントロールしたり相手に説明したりする方法を練習してくれました。

娘の話を聞いた先生が、「Rちゃんはそう考えているんだね」と返してくれるんです。そうすると、自分が話したことが受け入れてもらえている感じがして、安心するわけですよね。先生の言葉の使い方を学んで、いいなと思う表現を吸収して、日常で使うようになりました。



# Message

Rちゃんが初めて来てくださったときに感じたのは、その場の状況を見て行動できるお子さまだなということです。一見困っていることは少なそうに見えますが、いつも頑張ってしまうからこそ、つらさを感じてしまうことがあるのではないかなと思いました。授業では学校での悩みを相談してくれて、それに対してどうするかを一緒に考えていきました。嫌なことがあるとそれを避けてしまいがちなところがあったので、「やってみたらどんないいことがあるだろう?」という視点で考えることも意識しました。Rちゃんには、これから自分のやりたいことに取り組んで、自分の強みを伸ばして行ってほしいなと思います。

LITALICOジュニア  
大井町教室  
指導員より



## 無料相談

＼無料相談でできること／

- ・お子さまの困りごと相談
- ・居住地域での相談先
- ・家での親子の関わり方



2時間泣き続けることもあった  
娘が、嫌なことを言葉にして  
伝えられるように

こちらに通い始めてから、嫌なことをきちんと言葉にして相手に伝えられるようになったなと思います。

以前は「何かそわそわするな」くらいに感じていたようです。自分の気持ちを整理できないときは、2時間くらい泣き続けることもありました。今はそのそわそわ感を「自分が嫌だと感じているということだな」と受け

止められるようになったようです。

親に話せなくても、先生には話せることもあるみたいで、親以外に話を聞いてくれる大人がいることは大切だなと思います。娘も先生のことをすごく信頼していて、私も安心して子どもをお任せできる場所だと思っています。

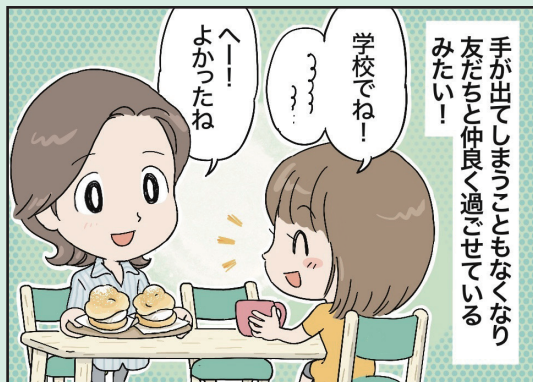
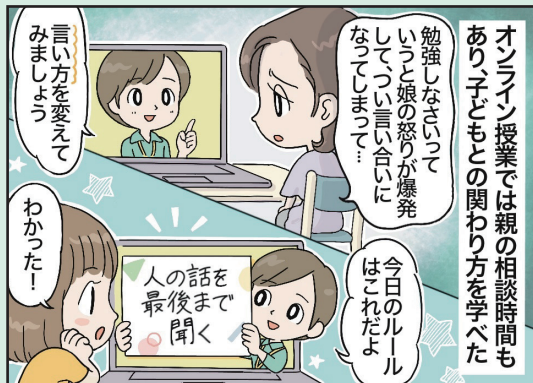




## オンライン授業を通して 親子関係が改善！

### 怒りをコントロールできず、度重なる親子喧嘩

感情のコントロールが苦手な娘。言葉より先に手が出てしまいトラブルにつながることも。オンライン授業を通じて自分の気持ちを抑えるスキルを身に付け、落ち着いて学校生活を送れるまでに成長しました。



娘は怒りが爆発すると何を言っても聞き入れてくれず、大声で騒ぎ続けていました。私もどのように対応したらいいのかわからなくて、娘と言い合っうちに親子喧嘩のようになってしまっことも。

オンライン授業では、親が相談できる時間もつくっていたできました。先生からは「勉強しなさい」といった命令口調だと喧嘩になってしまうので、「〇日はテストだよね」というように事実を伝えるといいですよ、

とアドバイスをいただきました。頭ごなしに注意するのをやめ、信じて見守るよううにしてからは、娘も気持ち が軽くなったようで、テスト前には自発的に勉強をするまでに。

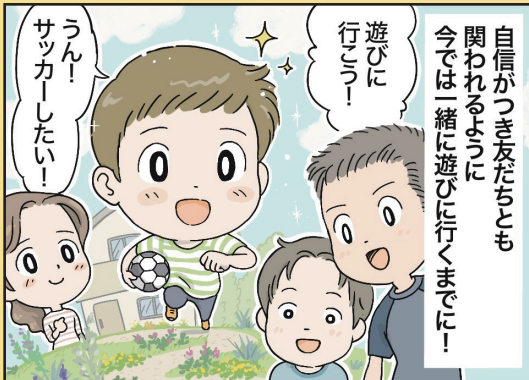
感情をコントロールしながら学校生活を送れるようにもなりました。言い合いになることも減り、以前では考えられなかった出来事などを教えてくれるようにもなりました。



## 学校で孤立していた息子が 笑顔で過ごせるように！

### 日曜日になると泣く息子「学校に行きたくない」

休み時間にクラスメイトが一齐にあそびだす中、誰とも話さない息子。日曜日になると「学校に行きたくない」と言っていた子が、LITALICO ジュニアの授業を通じて自信が付き、クラスメイトと一緒にあそぶように！



息子は、自分がどうしたいかを言葉で伝えられず、いやなことは黙って参加しない様子がありました。学校でも友だちと馴染めず、日曜日になると「学校に行きたくない」と言って泣いていてどうすればいいのかわからなかったんです。

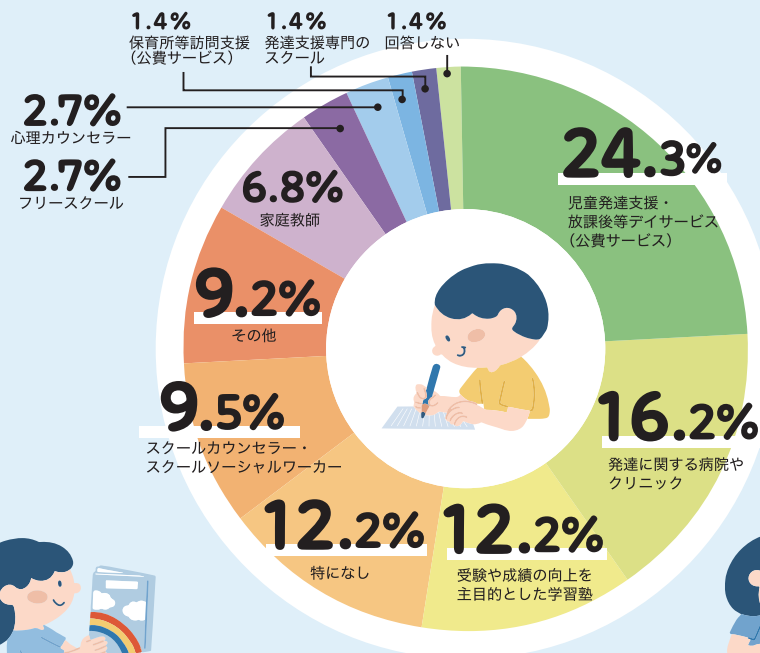
授業では「これは苦手だから違うのがしたい」など、希望がかなわないときに言葉で意見や気持ちを伝える練習をしました。

先生は、息子ができることを見つけて褒めるという

ことを徹底してくださいました。息子もたくさん褒めてもらえることで「理解してもらえている」と感じられたのか、以前よりも元気で明るい性格になりました。

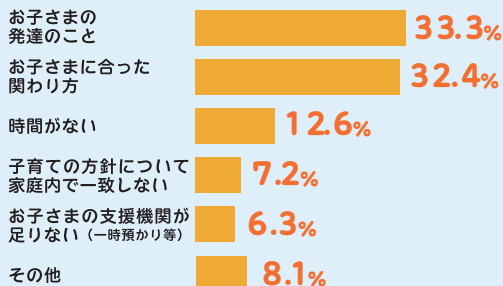
学校に行くのをいやがっていた息子が、今では「学校に行きたくない」と言うことがなくなりました。友だちとの関係性も次第によくなっていく、クラスメイトや近所の子と一緒にあそびに行くようにもなりました。

## こんな支援機関を利用しています！



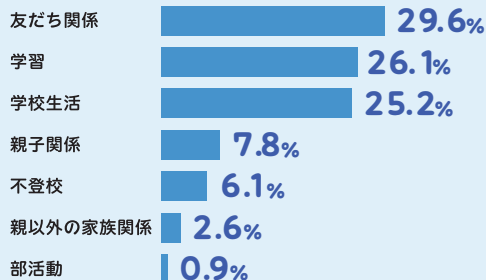
## 子育ての悩み

※複数回答



## 学習・生活面の困りごと

※複数回答



どんな人が利用してる？

ＬＩＴＡＬＩＣＯジュニア（発達支援）利用者アンケートをご紹介します！

LITALICO  
ジュニア

## 子どもの特性に 合わせた合理的配慮

例



### 読み書きに困難がある

拡大教科書やタブレットや音声読み上げソフトなどを利用して勉強できるようにする。



### 周りの刺激に敏感で 集中の持続が難しい

仕切りのある机を用意したり、別室でテストを受けられるようにしたりする。



### 指示の理解に困難がある

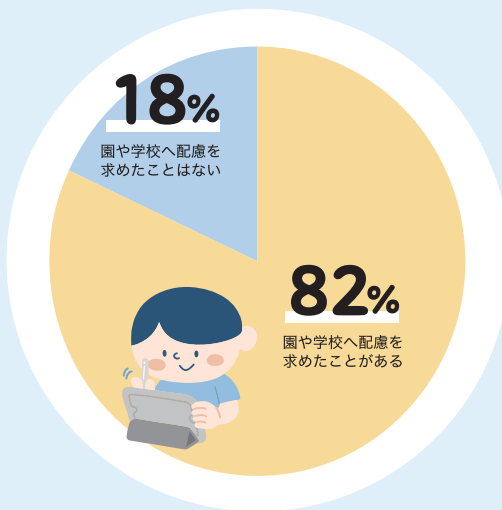
指示を1つずつ出すようにしたり、見通しが立つようにその日の予定をカードや表にしたりする。



### 肢体や視覚が不自由

介助者や盲導犬の補助を受けながら学校生活を送れるようにする。

合理的配慮を求めたことはありますか？



お子さまが園・学校で健やかに過ごすために

# 合理的配慮をご存じですか？

合理的配慮とは、障害のある

方々が教育や就業、社会生活に平等に参加できるよう、その特性や困難に応じて提供される配慮のことです。2024年4月に改訂された「障害者差別解消法（通称）」により、行政機関だけでなく事業者も合理的配慮をおこなうことが義務化されました。事業者は障害のある方からの要請に応じて、業務の範囲内で可能な限りの支援を提供する必要があります。ただし、

その配慮は業務の本質的な変更を伴わないことが条件です。今回のアンケートによると、50名中41名が合理的配慮を求め、そのうち約80%が「とてもよかった」または「よかった」と回答しました。

合理的配慮を検討する場合は、学校関係者と相互に理解を深めながらともに対応案を検討していくことが大切です。今回ご紹介した具体例もぜひ参考にしてみてください。

# 子育てのこんな時どっしょ？

発達支援の専門家が質問にお答えします！

## 小学4年生の保護者さまのお悩み

**困りごと**  
先の見通しがもてない

**好きなこと**  
工作すること

### お悩み

本人なりに頑張っているようですが、時間の管理が苦手で、今何をしたらいいのか判断ができません。見ていてイライラしてしまいます。

どのようなことでも苦手なことについては「一緒に練習する」「うまくできるように工夫する」などの対応が必要です。時間管理や優先順位づけに関しても、どのように管理するのか、何を基準に順位をつけるのかを一緒に考えたり、手帳やカレンダーなどツールを使って取り組みやすくなるような工夫をするといでしょう。そして、失敗しても自分で取り組み、できたことを褒めたり、できたときには褒めてあげると、お子さまも自信がつき前向きに取り組めるようになるでしょう。

#### 朝やること

- ☒ 歯みがき
- ☐ ごはん
- ☐ 着替え



## 小学5年生の保護者さまのお悩み

**困りごと**  
切り替え、学習に苦手意識

**好きなこと**  
自分で街をつくるゲーム

### お悩み

ゲームに夢中で宿題をしません。やらないといけないのはわかっているようですが、声をかけても生返事で困っています。

まずは、日常生活に支障がなく、楽しくゲームができる時間を話し合って把握しておくことが大切です。そのうえでスケジュールを組み立てるといいでしょう。スケジュールを組むときには、ゲームと宿題の間におやつの時間を入れたり、ゲームを止めるハードルを下げる工夫をすると、切り替えがしやすくなるでしょう。また事前に「ゲームの時間は何時までだよ」と終わりの時間を知らせる、終わりの時間が近づいたら「あと何分だよ」と声かけをすることで切り替える準備ができるようにするといでしょう。

ルール  
ゲームは  
3時まで





# 発達×子育て お悩みQ&A

監修



公認心理師／臨床心理士  
緒方 広海 先生

発達障害者センター、子ども家庭総合センターなどで乳幼児から成人期までの精神保健福祉、障害福祉の分野で幅広く心理臨床業務に携わった経験をもとに、当社で支援に関わる指導員の研修などを担当。

宿題をやらす、テストを隠すわが子を叱ってしまいます。どう関わればいいですか？

小学4年生の保護者さま

保護者として、心配になるのも無理もないことかと思います。一方で、強い口調で叱ったとしても改善することは少ないので、なるべくポジティブなところに目を向けて関わりましょう。

まずは宿題以外でも正直に話せたこと、人に相談できたことから褒め、そのうえで「一緒に解決する」という体験を積み重ねて、宿題も一緒に取り組めるといいでしょう。宿題の難易度や量がお子さまに合っていない可能性もあるので、一緒に取り組みながら調整できると思いますね。

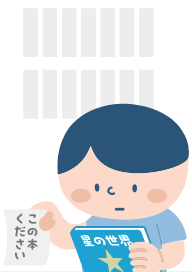


失敗することを恐れて新しいことにチャレンジできません。

小学1年生の保護者さま

人見知りや場所見知りが激しいと心配になりますよね。まずは小さいことでもいいので成功体験を積みところからはじめましょう。本が好きななら一緒に読む体験をしたり、好きな本について教えてもらう機会を作ってははどうでしょうか？

本屋さんや図書館でスタッフの方に本について尋ねたり、声に出すのが恥ずかしいならメモを渡すだけでもいいので、好きなことをきっかけに人と関わることの楽しさやメリットがわかるようになると思いますね。



友だちとの距離感が分からず近すぎたりしつこくしたり、嫌われてしまうことがあります…

小学5年生の保護者さま

なぜ距離感が分らないのかというのを整理し、そのうえで関わり方を教えてあげることが必要です。相手の身体に許可なく触らない、自分の話をしたら相手の話も聞くなど、お互いに楽しく付き合えるように工夫していくことが大切です。どのくらいの距離がいいか実際に距離をとって「腕一本分だね」など見て分かるように伝えるのもいいでしょう。

距離感が分らないお子さまの場合、感覚特性や衝動性の特性などさまざまな特性が影響している可能性があるので、特性を正しく把握しどう配慮するか検討できると思いますよ。

これくらいはなれて話そう！



お子さま一人ひとりの  
特性に合った関わり方を

## LITALICO 発達特性検査

### オンラインで完結する検査

LITALICO発達特性検査とは、発達が気になる子どもの保護者さま向けの検査です。Webですぐに結果が出て、お子さまの特性(対人/多動/感覚/学習など)やその背景、具体的なサポート方法が分かります。

詳しくは  
Webを  
ご覧ください



人はみんな、  
それぞれに個性をもって生きている。  
よく笑う人、さみしがりな人。  
ゆっくり成長する人、話すことが得意な人。  
もくもくと作業に取り組む人。

誰ひとりとして同じではなく、  
さまざまな人間性をもって、かけがえのない人生を歩んでいる。  
それなのに私たちの社会には、  
「ちがひ」をじゅうぶんにいかしきる仕組みができていない。  
それは、とてももったいないことだと思うのです。

生き方も、幸せも、決して一つではなく、人それぞれ。  
だからこそ、べつべつの個性が出会い協力しあうことで、  
想像できなかった未来だって、きっと生まれてくるはず。  
そんな考えを世の中すべての人のあたりまえにしたい、  
それがLITALICOの想いです。

人が育つとき、働くとき、何かをつくりだすとき、チャレンジするとき。  
その「ひとり」をせいいっぱい応援して、  
可能性を最大限に広げていきたい。  
「みんなの得意をいかし、できないことをおぎないあえる社会」をつくってほしいと、私たちは考えます。

あなたは、他の誰でもない。  
そこから、すべての未来ははじまります。

## 株式会社LITALICO について

株式会社LITALICOは「障害のない社会をつくる」をビジョンに掲げ、働くことに障害のある方に向けた就労移行支援を開始後、児童発達支援や放課後等デイサービス、幼児教室&学習教室、プログラミング教室の教育分野へ事業を展開。店舗運営の他、従来の分野に高齢者福祉を加え、当事者の方やそのご家族、企業などそれぞれに向けたポータルサイトやWebサービスを展開。2016年3月に東証マザーズに上場、2017年3月東証一部に市場変更。2022年4月に東京証券取引所プライム市場に移行。

人はちがう。

それでいい。

そこから始まる。

**LITALICO**  
リタリコ



この冊子はLITALICO ジュニアのパーソナルコースの  
協力のもと制作いたしました。



